

【例題－事務7】

組織構造に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. 組織構造の次元である複雑性には、水平的、垂直的、空間的の三つの構成要素がある。垂直的複雑性とは、階層上下のレベル数を意味している。組織がピラミッド型をしていると想定すると、その高さが増すほど垂直的複雑性は高くなり、上下のコミュニケーションをとって調整することが難しくなる。
- イ. 組織構造の次元には、公式性がある。公式性とは、職務やその進め方がどの程度公に定められているか、組織内のルールや手続がマニュアルのように文書化されているか、を意味している。組織内のタスクの中でも熟練が必要なものほど公式性の程度は高く、組織の上位階層ほど公式性は高い。
- ウ. 組織構造の次元の集権性は、意思決定権限がどの程度組織上位に集中しているかを意味している。集権性が高ければ集権的組織と呼ばれ、低ければ分権的組織と呼ばれる。一般的には、分権的組織よりも集権的組織の方が、下位階層のメンバーのモチベーションを高め参加意欲を強化する。
- エ. 組織構造の次元を規定する要因は様々である。組織の年齢が増したり、組織の規模が大きくなったりすると、公式性の程度は高くなる。
- オ. 組織構造は、外部環境の特性にも影響を受ける。組織の外部環境の複雑性が高くなったり変化に富むようになると、組織の集権性の程度は高くなる。

- 1. ア, ウ
- 2. ア, エ
- 3. イ, エ
- 4. イ, オ
- 5. ウ, オ

(正答) 2